

公共施設の再編に関する意見交換会 質疑・回答一覧表 【相浦、中北部、東部、佐世保中央、日宇、宇久エリア】

エリア	構成する地域	エリア	構成する地域
相浦	相浦、黒島	佐世保中央	南、崎辺、山澄、中部、清水、北、西 愛宕、九十九
中北部	大野、柚木、中里皆瀬	日宇	日宇
東部	早岐、広田、江上、針尾、三川内、宮	宇久	宇久

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
1	小学校・中学校	相浦	日野小学校が現状維持となっているが、今後、5年後、15年後にどうなるかということは未定ということか。	この適正配置計画で掲げている方針とは機能のことであり、今後、建物の保全をいつどのように行うかということやその順番については、別に整理を行うこととしています。
2	全般	相浦	通常の民間企業であれば計画的にメンテナンスを行うことによって寿命が延びる。財政運営が大変になるということは理解できるが、市として“長寿命化”という話がいつ頃から出てきたのか。唐突感がある。	民間であれば、減価償却による引当などにより資産管理されていることが通常であると思いますが、残念ながら、現在の公会計にそのような仕組みはなく、これまで対症的にメンテナンスを行ってきたのが実態です。そのようなことから、予防保全の仕組みを今後構築していくための第一歩である公共施設適正配置・保全基本計画を平成29年2月に策定しました。今後は、施設の点検や劣化状況の把握をしっかりと行って、予防保全の仕組みを構築していくこととしております。
3	公民館	相浦	実施計画案においてコミュニティセンター化という言葉があるが、公共施設はあくまでハードの話。それをソフトの話であるコミュニティセンター化と共存させるのはどうなのか。	コミュニティセンター化とはまさにソフト面である機能の話となります。この計画は、手段である施設のハードをどう再編するかにおいて、その前提となる機能を検討するものです。したがって、公民館からコミュニティセンターという名称の用途に変わるということをお知らせすべきものと考え、記載したものでございます。
4	その他	相浦	日野には地区公民館がない。人口減少や少子高齢化の話もあったが、例えば、学校の増築を行うにせよ、ただ、教室を作るのではなく、将来を見越して、そこにサテライト的な部屋を作るなど、コミュニティセンターとしての利用も想定・考慮した形としてはどうか。	施設の規模や必要な機能などについては、保全実施計画に並行して用途ごとの基準として策定を進めているところであり、それを踏まえた長寿命化改修というのをどのようなものとするのかを検討しています。その検討の中にあたって、他市の先進的な取組を参考としていますが、例えば、学校の校舎の一部を地域コミュニティに開放できるようなことを想定した作りをしたり、介護サービスに変えられるような整備を行っている自治体もありますので、そのようなことも参考にしながら保全実施計画を検討してまいります。なお、地区公民館につきましては、相浦中学校区、日野中学校区を包括する「相浦地区公民館」を、本年5月に供用開始しておりますので、ぜひご利用ください。
5	全般	相浦	財政が厳しければ、跡地などについては民間に売却して財政収入とするなどの方法もあると思う。	資産活用基本方針では、用途が廃止となった施設が違った特別な機能を有しているなど、残す必要性が高い場合を除き、不要となった土地や建物は原則的に処分や売却をしようという考え方を基本としています。できれば、そのような形で確保した財源を活用して、必要となる建物を改修、更新する費用に充てる仕組みを構築したいと考えています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
6	スポーツ施設	相浦	総合グラウンド陸上競技場や野球場は建築から40年以上が経過し、施設が老朽化している。例えば、施設の前の田んぼを購入して、あの場所に新たな施設を建設し、旧施設については売却するなどを検討してはどうかと考えるが、いかがか。	総合グラウンドは市全域における拠点施設であることから機能の継続は必要としつつも、施設保全の考え方につきましては、ご意見にあります移転という考え方を含め、全市的な視点のもと、効果的な手法について様々な角度から検討し、決定していく必要があると考えています。
7	スポーツ施設	相浦	総合グラウンドの野球場はもう無理（もたない）ではないか。あれは、最初の国体の頃の最もコンクリート質が悪いものを使用し建設しているため、いくら補修しても常にコンクリートが剥がれていく。シャワーもなければ、ベンチの状況も良くない。 総合グラウンド体育館も古くなっている。総合グラウンドは、野球場の他、陸上競技場、プールなど、全体が一体群となっていることで意味をなしている。運用面も考慮すれば、今の施設を使用しながら、並行して建設をして、完成後に一斉に移転して、跡地を売却してはどうか。	総合グラウンド野球場が質の悪いコンクリートを使用し建設されたという事実は把握しておりませんが、ご指摘の状況は、昭和54年の建設から約40年が経過したことによる経年劣化と認識しており、平成25年度から平成27年度にかけて、コンクリートの剥がれた部分を補修し、その再発を抑止するため観客席の床に防水塗膜を施しております。 総合グラウンドの移転及び跡地売却については、ご意見にあります移転という考え方を含め、全市的な視点のもと、効果的な手法について様々な角度から検討し、決定していく必要があると考えています。。
8	全般	相浦	今回の意見交換会は夜に開催をされたが、昼間だともっと集まりやすいのではという感じもするが、いかがか。	昨年度、北部エリアで、本日と同じように地域の方と意見交換をさせて頂いたが、都合の良い開催時間のお尋ねをしたところ、お仕事をお持ちの方は平日夜との声が多くありました。今回もそれに習い実施しています。平日夜間の参加が難しい方に対しては、オープンハウスなど別の手法により広報周知に努めていきたいと考えます。
9	保育所	相浦	浅子保育所のあり方について、子どもの数の減少という実態はあるが、小規模保育から家庭的保育にする事で質の低下が懸念される。まずは、指定管理での運営から民営化という段階的に進める方向で考えられないか、ご検討をお願いします。 ※ご意見用紙	園児数が6名を下回ると、制度上家庭的保育の基準に変わります。今後の運営については地域の皆様との協議を密に重ねていく必要がありますので、方向性のひとつとして参考にしながら、検討して参ります。
10	その他	黒島 (1回)	旧小学校のグラウンドは残して、これまでどおりグラウンドゴルフができる場として継続して使用させてほしい一方で、駐車場も拡大が必要である。	旧小学校グラウンドについては、引続き、グラウンドゴルフをはじめとした地域活動ができる広場として残しつつ、必要に応じて駐車場としても利用ができるよう検討を進めて参ります。
11	その他	黒島 (1回)	民間のデイサービスや保育園が無くなる話がある。教職員住宅だけではなく、これらも含めて検討すべきではないか。	現在、デイサービスを実施されている民間事業者においては、事業の廃止を決定されていますが、担当部局では事業を引き継いで実施していただける民間事業者を探しており、現時点でデイサービス事業及び保育事業の廃止が確定したものではありません。 なお、今後の動向により、公営によるデイサービス事業及び保育事業の実施が必要となった場合は、民間施設の活用も含め、別途検討することとなります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
12	公民館	黒島 (1回)	地区公民館は避難所にも指定されている。安全な施設の確保のため、建替えについて早急に対応して欲しい。避難時には2階の和室等に避難しているが、エレベーターがない。	黒島地区公民館は耐震補強をしていないため、優先順位は高いと考えております。また、エレベーターについては、離島の条件下においてはメーカーの対応が難しく、設置が困難な状況です。したがって、建て替えの場合は平屋建て、旧小学校校舎へ移転させる場合は公民館の機能をすべて1階に配置することになると思われます。
13	その他	黒島 (1回)	旧小学校校舎は交差点にあるため、出入り口が危険である。変更した方が良い。	新しい施設をグラウンドのどこに建てるかによっても異なりますので、敷地全体の利便性と安全性の視点で検討いたします。
14	その他	黒島 (1回)	解体するまで旧小学校校舎は使えないか。教会が世界遺産に登録されて、観光客が増えると思うが、宿泊場所が少ない。旧校舎には給食室があるので、それを使用して、臨時宿泊所として活用することも考えられる。	解体するまでの使用は一定の条件下において可能と思われますが、使用の目的に応じて個別に検討が必要です。
15	宿舎	黒島 (1回)	教職員住宅は、現在地での建替えはできないのか。また、ヘリポートはほとんど使ったことがないので、教職員住宅を建ててもよいのではないのか。	現在、旧小学校跡地、現地建替え、ヘリポート隣接地の活用も含めて、教職員住宅の建替え場所を検討しています。また、離島で生活されている方々の安全・安心を確保するうえで、使用実績にかかわらず、移動手段の確保の観点からヘリポートは必ず必要なものと考えています。
16	宿舎	黒島 (1回)	教職員住宅は、小中学校に近い個人の土地を買収して建ててもよいのではないのか。町内会を通して話をすれば提供してもよいという人は出てくるのではないのか。	そのような情報があればご提供をお願いします。
17	宿舎	黒島 (2回)	旧小学校の一番上の校舎のみを解体して教職員住宅を建てられないのか。	一番上の敷地に教職員住宅の建物だけなら可能ですが、駐車場の確保が必要です。
18	その他	黒島 (2回)	旧小学校跡地を全く利用しないとすれば、旧小学校は解体をするのか。	旧小学校校舎については、老朽化していることから、基本的には解体を行い、土地の有効活用を考えていきます。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
19	宿舎	黒島 (2回)	教職員住宅にあたっては、小中学校には駐車場11台分しかなく、来庁者用を確保しておく必要がある。そのため、旧小学校跡地では通勤に車を使用することになるので、できれば学校の近くがよいのではないかと。ただ、現在の古里住宅だと夜は暗く、いのししが出たりするので、女性にとっては厳しい。	現在の古里住宅は谷となっており辺りも暗く、現地での建替えとなれば、土地の嵩上げのほか樹木の伐採や街灯を設置したりする必要があります。そうすると経費が高額となることから、古里住宅現地以外での建替えも含め、検討してまいります。
20	その他	黒島 (2回)	診療所も一緒に建替える案となっているが、総合医療センターが建てるのか、市が建てるのか。	現在、市が施設を設置して総合医療センターが、付属診療所として運営しており、その関係に変わりはありませんので、新しい施設も市の施設として建てる方針で考えています。
21	宿舎	黒島 (2回)	教職員住宅を建て替えるためには何坪必要なのか。また、高さの制限はあるのか。	450坪（1,500㎡）程度が必要となります。 高さについては、佐世保市景観計画により10mを超えるものについては届出が必要となっています。
22	小学校・中学校	大野	学校が現状維持となっているが、校舎が建設されたいが経過しており、老朽化が進んでいると思うが、何も手当をせず、現状維持なのか。	この適正配置実施計画の検討案については、あくまでも“機能”についての方針をお示ししているものです。機能を継続するとしてうえて、当然ながら、補修や長寿命化改修を行いながら安全性の確保を図ります。
23	公民館	大野	コミュニティセンター化の話があったが、名称だけの変更なのか、施設の改修や建て替え等も行うのか、また、施設の管理運営が自治協等の外部に指定管理されると聞いているが、正しいか。	コミュニティセンター化については、現在、庁内関係課において検討を行っており、具体的にどのような形となるかについては、お答えできる状況にありません。また、長寿命化改修にあたっては、建物の老朽化による改修やレイアウトの変更など、施設自体についての皆様からの要望が上がってくることも考えられますが、施設の改修のタイミングと運営見直しによるコミュニティセンター化のタイミングは必ずしも一致しないものと思います。 また、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありませんが、地域住民の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
24	その他集会施設	大野	教育集会所の計画は、中長期で検討となっているが、もっと早く地元町内会に移譲できないか。	移譲を行うにあたっては、関係団体の方々や地元の町内会の方々と一定の調整が必要であると考えております。また、建築年度も古く、移譲にあたっては施設の補修を行う期間が必要ではないかという意味を含め時期的なものを設定させて頂いております。ただし、調整が速やかに整えば、早めることも可能かと考えております。 ご意見を踏まえ、教育委員会と具体的なスケジュールを検討していきたいと考えます。
25	スポーツ施設	大野	佐世保市は長崎県第2の都市であるにも関わらず、グラウンドやテニスコートの人工芝や天然芝の質や管理があまり良くない。 施設を減らすことも必要だが、利用しやすい環境整備もお願いしたい。	各施設の安全性の確保や機能充実のためにも、施設の集約化や複合化などによる再編を行うことで財源を捻出し、必要な施設や設備をより適切に管理するという取組が必要となります。その取組を進めていくことが、市民の皆様からのニーズに応えていくことに繋がりますので、ご要望なども、主管課を通じて、しっかり受け止めながら取組を進めていきたいと考えております。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
26	児童センター・児童交流センター	大野	大野児童センターについては用途変更または機能廃止となっているが、実際に廃止等を行う場合には、地元等に対して事前に説明していただけるのか。実際の利用者の方々の意見を受け止めながら、検討をして頂きたい。	この記載は、現時点で決定したものではなく、想定される方向性をお示ししているものです。児童センター利用数の減少や、今後の施設の老朽化に伴うコスト等から、児童センターの存廃についても検討しておりますが、現在は子供達や乳幼児をもつ親子も多く利用されていることから、皆様のご意見をお伺いしながら検討して参ります。
27	公民館	大野	大野地区公民館も老朽化が進んでいる。 他地区の公民館では建替えが進み、大野地区公民館は遅れているように思う。 ※ご意見用紙	大野地区公民館は公民館の中でも築年数も古く老朽度合も進んでいますが、平成29、30年度での外壁改修をはじめ、大規模工事を適宜行いながら、施設保全に努めております。すべての建物について、今後の市の方針としては建替えではなく長寿命化を基本としており、改修の順番については、別途策定する保全実施計画において定める予定としております。
28	小学校・中学校	大野	施設の改修を今後行われていくと思うが、その際は、少人数クラスへも対応可能な柔軟な対応が行い易い改修を行って頂きたいと思う。 ※ご意見用紙	今後、施設の改修を行っていく際には、将来の児童・生徒数の推移にも対応できるような改修についても検討して参ります。
29	児童センター・児童交流センター	大野	児童センターの活用については、ぜひ意見を聞く機会を設けて欲しい。 ※ご意見用紙	児童センターの廃止については、現時点で決定したものではなく、想定される方向性をお示ししているものです。児童センター利用数の減少や、今後の施設の老朽化に伴うコスト等から、児童センターの存廃についても検討しておりますが、現在は子供達や乳幼児をもつ親子も多く利用されていることから、皆様のご意見をお伺いしながら検討して参ります。
30	公民館 小学校・中学校	柚木	小中一貫校への検討については、今後の人口減少を見据えると子供達のためには仕方ないと思うが、地区公民館については地域の拠点として残して欲しい。また、統合する場合の学校の跡施設の使い方もしっかり検討してほしい。	支所と地区公民館については、基本計画において、現在の数を維持することとしております。また、他の事例において、廃校となった施設の使い方についても、コミュニティ活動の場として転用した事例も見られます。今後、地域の方々のご要望を伺いながら、再利用や転用も必要に応じて検討していきたいと考えております。
31	公民館	柚木	コミュニティセンター化について、他市の事例によっては、市民に管理運営を任せるところもあるようだが、佐世保市についてもそのように考えているのか。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できませんが、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
32	公民館	柚木	柚木地区公民館の長寿命化の順番はどのくらいの時期を想定しているのか。	長寿命化の順番については、別途策定する保全実施計画において定める予定としております。柚木地区公民館は公民館の中でも築年数も古く老朽度合も進んでいるので、劣化度等の客観的な情報のみで言えば（複合化予定、付帯施設を除き）、現在モデル施設として進めている宮地区の次になりますが、実質的な順番については現在調整中です。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
33	全般	柚木	耐震工事は行っているのではないか。	耐震工事は行われておりますが、耐震工事は地震等の揺れに対する強化である一方、長寿命化改修は建物自体の寿命を延ばす工事であり、両者の性格は異なるものとなります。
34	小学校・中学校	柚木	小中一貫校となったときの先生の数はどうなるのか。	教職員の人数は、児童・生徒数によって決まる学級数に応じて定められております。また、この定めは、一貫型の小中学校や義務教育学校においても同じ基準となっています。したがって、小中一貫化という理由による教職員数の増減は生じません。小中一貫学校におきましては、小学校、中学校の教職員が相互に授業を行うことも可能となりますので、効果的な指導を実施できるというメリットもございます。
35	公民館	柚木	柚木地区も高齢者が多く公民館にエレベーターを設置してほしい。 ※ご意見用紙	エレベーターの設置については、長寿命化に向けた大規模改修に合わせて実施する方が効率的です。現在、行っている長寿命化改修の整備レベルの検討の中で、標準的に備えるべき設備とするかを検討することとしております。
36	小学校・中学校	柚木	将来的に柚木地区の人口、児童数の減少は避けられないこと。利便性を考えた場合、集中型の方が児童にも父兄にも良い。大野地区等との統合よりも柚木地域の風土を大切に保存できたらと思う。 ※ご意見用紙	柚木小学校及び柚木中学校においては、通学区域審議会から一貫型の小中学校や義務教育学校の実現に向けての研究を進めることが望ましいとの報告を受けています。一方で、各地域に根づく文化や風土についても一定の配慮を行いつつ、学校、保護者、地域の皆様のご意見を伺いながら研究を進めて参ります。
37	小学校・中学校	中里 皆瀬	中里小学校について、現在、児童数がものすごく増えている。建替えは考えているのか。	児童数の増加について、時期は未定ですが、建替えも視野に検討してまいります。
38	公民館	中里 皆瀬	中里皆瀬地区公民館の建替えについてはどのように考えているのか。	地区公民館については、他の地域の公民館も含め、市の方針として長寿命化が基本ですが、建物の物理的な耐用年数、経済的な耐用年数、機能的な耐用年数等を勘案し、必要に応じて建替えを行うこととなります。市内には中里皆瀬地区よりも古い施設が多く残っていますので、建替え要件による検討に加え、全体的な順番を検討のうえ、長寿命化または建替えの選択を行います。
39	公民館	中里 皆瀬	中里皆瀬地区公民館は避難場所として指定されているが、川の近くで不安である。	中里皆瀬地区公民館は、川のそばに建っているため、避難先として不安であるとのことご意見をいただき、中里皆瀬地区公民館を避難所として開設することに併せて、皆瀬小学校体育館も避難所として同時開設するようにしておりますのでご利用ください。（緊急に開設する場合は、地区公民館と皆瀬小学校体育館の開設時刻が若干ずれることがあります。） 学校の体育館は、冷暖房設備がありませんので、地区公民館よりも居住性は格段に落ちます。地区内の町内会公民館などで、安全な場所にある建物を「身近な避難所」として自主防災会などが自主開設運営することをご検討ください。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
40	公民館	中里 皆瀬	中里皆瀬地区公民館の建替えについては、過去市政懇談会で何度も要望している。市政懇談会とこの意見交換会の関係性を知りたい。	市政懇談会の内容については、議事録等から把握しております。ただ、これまでは、個別での回答に終始しており、他の地区と比較のうえで市全体としてどの順番で整備をしていくかという検討は行われてこなかったと思われます。したがって、今回の実施計画においては、そういった視点で整理したいと考えております。
41	全般	中里 皆瀬	本日の出席者が少ないように思うが、他の地区の意見交換会ではどのような状況か。	各地区の施設老朽化度など課題の認識の違いによって地域差が生じているのかもしれませんが、北部エリアの各地区や黒島地区などでは20～30名程度、他の地区については概ね10名前後が多いという状況です。本計画は20年間の取組ですので、今後は、再編の取組みの必要性を含め、市全体に浸透させていく方法を検討したいと考えております。
42	全般	中里 皆瀬	トイレの洋式化など部分的な改修はできるのか。	部分的な改修については、長寿命化を見据えながら、予算との調整となります。
43	公民館	早岐	早岐地区公民館は水害に弱いのに避難所に指定されている。ここが避難所では危ないと地域住民は言っている。そういう観点からの対策も必要ではないか。	早岐地区公民館は、低地にあるため避難先として不安があるとのこと意見をいただき、早岐地区公民館を避難所として開設することに併せて、花高小学校体育館も避難所として同時開設するようにしておりますのでご利用ください。（緊急に開設する場合は、地区公民館と花高小学校体育館の開設時刻が若干ずれることがあります。） また、時間的に余裕がある場合は、広田地区公民館など他の地区公民館のご利用もご検討ください。 学校の体育館は、冷暖房設備がありませんので、地区公民館よりも居住性は格段に落ちます。地区内の町内会公民館などで、安全な場所にある建物を「身近な避難所」として自主防災会などが自主開設運営することもご検討ください。
44	全般	早岐	建物の耐用年数というのは考えているのか。例えば、公民館の耐用年数というのがあと20年であれば、20年後には建替えるといった計画があるのか。	今後の施設保全に向けた基本である長寿命化改修を行うにあたって、まず、40年を目途に建物の構造体にかかる健全性の調査を行い、残りの耐用年数を判断します。その診断により、その建物の構造体に残り40年以上もつとの診断ができれば、長寿命化改修を行うことになります。
45	公民館	早岐	早岐地区公民館は、公民館全体で古い方から何番目になるのか。	単純に築年数が古い順ということであれば、公民館全体の7番目（現在整備・改修中の吉井・宮を除く）となります。ただし、改修等の順番については、施設の劣化度や地域の実情等も勘案して判断することになりますので、今後の状況次第で、順番が前後することはあり得ます。
46	全般	早岐	途中で様々な改修を行ったので、改修の順番が遅くなったということはあるのか。	建物の建築年度と劣化状況から順番を決定していくため、部分的な改修を行った場合には一定の劣化状況を抑えられているということから、その分の優先順位が下がるということはありません。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
47	全般	早岐	公共施設の検討にあたっては警察等を含む他の官公庁舎をどのように展開していくか相対的な議論が必要。	国、県等の施設との再編計画については、関係団体や関係部局との協議や調整が必要となり、また、市としての政策的な判断も合わせて必要であるため、今後に向けて慎重に検討したいと考えております。
48	小学校・中学校	早岐	小中学校への冷暖房設備を設置する件については、進んでいるのか。	先日の報道発表において、小中学校の普通教室に空調設備を進めるといったご説明をさせていただいたところですが、何々年の取組みとなるかについては現在整理中であり、あくまで空調設備の整備を進めますという表明にとどまっているという状況です。
49	全般	早岐	解体に対しての基金などはないのか。リスクを含めて長いスパンで考えていくべきである。	施設を整備するための基金というものは存在しますが、これはあくまで機能向上や施設維持のための施設整備基金であり、解体費用を想定したものではありません。今後、民間の考え方に用いられるリスクマネジメントの観点について改善すべき課題として考えているところであり、今までの対症療法的な改修から、事前に計画立てて管理していく予防保全的な管理体制の確立を目指しているところです。
50	全般	早岐	今回の再編計画において廃止してしまう施設の中に、歴史的な建物や文化財は含まれていないか。	早岐地区が属している東部エリアにおいては、そのような施設はありません。また、佐世保市全体を見ると、世知原炭鉱資料館は県の指定文化財であり、また、市民文化ホールも国の登録文化財であるため、建物を保護しながら活用を行っていくこととしています。
51	全般	早岐	東部エリアの将来人口推計で、江上地区のみがプラスとなっているが、なにか理由があるのか。	要因としては、以下のことが考えられます。 ・平成17年以降に、住宅の建築が増え、支所管内の人口が、増えたこと ・平成28年7月より、広田地区の市街化調整区域において、住宅について建築制限を行ったこと ただし、短期間での人口の上昇率により、将来を推計しているため、人口増加の予想となっていますが、今後は、住宅開発地や経済圏の変動により、人口の上昇率が小さくなることが予想されます。
52	全般	早岐	佐世保市全体の人口が減少していくという総論の部分は理解をするが、地域単位の各論にあたっては、その地域でどのように人口が推移していくのかというのも考慮しながら、機能を存続させるのか、廃止するのかということを考えてほしい。	各論的に様々な地域での人口の変動については、当然想定されるところであり、特に学校ごとに児童生徒数のムラがあるのが今の小中学校の実態です。そういった状況については、継続的に状況を見ながら対応していかなければならないと考えております。
53	全般	早岐	東部エリアにおいて、公共施設の整備計画や検討しているものがあったら教えてほしい。	昨年度、早岐小学校校舎について構造体の健全性調査を行いました。今後40年はもたないという診断結果となったため、方向性としては建替えということになると思われます。具体的な時期や場所については、今後教育委員会の方で検討していくことになります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
54	全般	早岐	これからの時代の人たちにも、昭和を知ってもらいたいため、老人会で昭和の品物を持ち寄り、昭和レトロ展を開催を予定しているが、その品物を補完しておくスペースがない。今後、施設を再編していく上で、空いた施設等が出てきた際には、そういった品物を保管、展示するスペースを作ることも考えてほしい。	何かを集めて管理するというのは、現在スペースがない状況です。そのため、ご要望の内容への対応については、極めて難しいと思いますが、ただ、今後の将来において公共施設の再編が進み、遊休施設が出てくれば、保管場所としてのご提供は、案件によって可能性はあるのかもしれません。
55	全般	広田	耐震工事の進捗状況をお聞きたい。	学校については基本的に１００％完了をしております。耐震改修は建物を長寿命化するための工事ではありません。また、学校以外の建物で近年建替える予定のものなど、耐震対策を行っても無駄な投資になると思われる建物は行っておらず、引続き使用する建物について実施しております。
56	小学校・中学校	広田	学校を小学校の方に集約するか中学校の方に集約するかについては、通学区域審議会の答申の中で出てきているのか。	どちらに集約するかについては、通学区域審議会の答申の中での記載はありません。原則的には、新しい施設に集約することが基本になるかと思いますが、建物の躯体の健全性や耐用年数、具体的な施設の状況に応じ、今後検討していくこととなります。また、広田小学校については、過大規模化を解消するために、通学区域審議会の答申を受けて一貫型学校としたうえで、小学校６年生を中学校内に設置した施設において、教育課程を実施しています。
57	全般	広田	東部エリアの将来人口推計で、江上地区のみがプラスとなっているが、なにか理由があるのか。	要因としては、以下のことが考えられます。 ・平成１７年以降に、住宅の建築が増え、支所管内の人口が、増えたこと ・平成２８年７月より、広田地区の市街化調整区域において、住宅について建築制限を行ったこと ただし、短期間での人口の上昇率により、将来を推計しているため、人口増加の予想となっていますが、今後は、住宅開発地や経済圏の変動により、人口の上昇率が小さくなることが予想されます。
58	全般	広田	広田地区の公共施設については、見たところほぼ現状維持となっているが、そのような認識でよいのか。	保育所、児童センターについては、させぼっ子未来プランにおいて、存廃や民営化に向けた検討を継続的に行うということで記載をされています。現時点では具体的に決まっているものがないので、現時点で申し上げることはできませんが、今後、なんらかの動きがある可能性はあります。現在、子ども未来部によって検討しているところです。
59	全般	広田	子育て支援センターなど決まっていけないものも削減効果にまで及ばせているのか。	現時点で未確定要素であり、かつ方向性の可能性が複数ある児童センターや保育所については、数字のカウントをしておりません。一方で、江上小学校、針尾小学校などの統廃合の記載につきましては、通学区域審議会の答申をそのまま記載しており、未確定要素ですが、方向性としては一本化されているということで、削減効果にカウントを行っています。
60	全般	江上	長寿命化を推進していくとあるが、新築の考え方はないのか。	建物を更新する際には長寿命化が原則ですが、老朽化による物理的な耐用年数、長寿命化改修をするより建替えた方が安価になるなどの経済的な耐用年数、使われ方が建設当時と変化し、機能的に満たさなくなったなどの機能的な耐用年数となった場合には、建替えを選択することになります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
61	公民館	江上	江上地区公民館は避難所に指定されているが、台風などの際は冠水してしまう。避難所の見直しなど検討されているか。	江上地区公民館が冠水しやすい場所に建っていることについては認識を致しております。現在、避難所の見直しについては、地区にもよりますが、町内会の集会所などは比較的安全な場所に建てられているものが多いので、これらを避難所とできないか、検討を進めています。
62	全般	江上	人口が減少するのはわかるが、人口を増やす方法も併せて考えなければならない。	人口減少や少子化対策については、企業誘致、保育の充実や働きやすい環境づくり、婚活支援など、各部署、様々な視点から取組みを行っていますが、このような人口増加に努める一方で、今後も安定的に財政運営を行っていくためには、最悪の場合を想定しておく必要があると考えています。また、通学区域審議会の答申については、地域ごとの個別具体的な問題点について検証をしたうえでの結果ではなく、あくまで、市全体的、統一的な考え方のもと出されているものです。したがって、具体的な方向性については、今後、地域の皆様のご意見をしっかり賜りながら決定していきます。
63	全般	江上	建築確認は市で行っているはずである。公共施設だけではなく、民間施設で統廃合が行われることに対しての支援等はないのか。	民間の建物に対する管理責任はあくまでその所有者にありますので、施設の老朽化やメンテナンスの必要性について、行政が手を加えたり、強制的な働きかけを行うことは難しく、あくまで指導的な立場としての広告や啓発等を行えるに留まります。
64	公民館	江上	公民館がコミュニティセンターへ移行した際は、どこが所管するのか。	コミュニティセンター化の具体的な内容については現在検討中ですが、所管については市民生活部となると考えています。
65	公民館	江上	コミュニティセンターは指定管理者制度を導入する考えもあるのか。	指定管理者制度も視野に検討を行っています。
66	全般	江上	住民の生活環境が悪くなる様であれば、本末転倒である。施設を減らすだけでなく、今までなかった施設を設置するなどの方向も検討されるべきではないか。 ※ご意見用紙	政策的な意味合いにおいて、新たに施設を設置することが必要と判断されたものについては、この再編の取組みとは考え方を分けたうえで、一定の対応がなされていくものと考えられます。
67	小学校・中学校	針尾	小学校は将来的に統廃合ということだが、プールや体育館の建替えが計画されていると聞いているが、それと今回の再編の計画は整合性がとれていないのか。	今年度から着手している針尾小学校の整備については、施設の老朽化が進んでいることから計画しております。一方で、この適正配置計画については、１０年、２０年後を見据えた時にどのような方向性とするのが良いかを検討しているものであり、統廃合についてもまだ決まったことではありません。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
68	小学校・中学校	針尾	バスの再編の話もあっている中、学校の統廃合によりバス通学となると心配である。 統廃合となるとバス通学となる。今でもバス通学はいるが、一部補助のみのため、負担が増えることになるが、どのように考えているのか。	学校の統廃合により遠距離通学となる児童生徒の通学費については、保護者の負担ができるだけ生じないよう、地域間の整合性を図りながら検討して参ります。
69	小学校・中学校	針尾	小学校の体育館の入り口のスロープ化やグラウンドに車を横付けできるようにバリアフリーを進めてほしい。 また、学校のグラウンドで地域行事の際に学校のスピーカーを借りているが、重いので一回一回出して準備するのが大変である。固定のスピーカーを外の一角などに置いて音源を差し込んですぐ使えるようにできないか。	バリアフリーにつきましては、今後の施設整備の中で図ってまいりたいと考えております。 また、スピーカーのご要望につきましても、学校運営上必要な範囲で、設置の検討を行って参ります。
70	小学校・中学校	針尾	現在計画されている小学校校舎の建替えにおいて、将来、小学校が統廃合した後、空き校舎を多目的に使用することを想定した造りにしておくことができないか。	今年度、日野小学校を長寿命化改修のモデル施設として設計を進めていますが、その中において、将来的に児童数が減った際に、他の目的への転用を想定した施設への改修ということも一つのテーマとしながら進めているところです。
71	公民館	針尾	針尾地区公民館では2階で高齢者を対象にした催しをしている。また、避難者が増えた際は一階に入りきれず、2階も利用している。江上にはエレベーターが設置されるらしいが、針尾にもエレベーターを付けてほしい。	エレベーターの設置については、長寿命化に向けた大規模改修に合わせて実施する方が効率的です。現在、検討している長寿命化改修の整備レベルの検討や改修を行う順番決めの中で、施設の劣化状況等を見ながら、対応を検討することとしております。
72	全般	針尾	先日の台風の際、一部の地域が停電した。避難場所にはソーラーパネル等を用いた発電設備が必要と思われる。また、佐世保は水道管が老朽化していると聞いており、水の供給という面でも飲料水の保管も必要ではないか。今後、ご検討をお願いしたい。	避難所への発電設備設置については、現在のところ具体的な計画はありませんが、今後必要に応じて非常用発電機を配置することも検討していきます。 飲料水の保管について、佐世保市では市内に複数の備蓄拠点を設け、食糧、飲料水、毛布などを備蓄しており、災害発生時にはこれらの備蓄拠点から各避難所へ備蓄品を届ける計画となっております。針尾地区の近隣の備蓄拠点は、早岐地区公民館及び東消防署となります。
73	全般	三川内	三川内の再編にはどれくらいの費用がかかるのか。	三川内地域に係る費用については、支所、公民館をはじめとした周辺施設の適正配置案や更新方法（建替えか長寿命化か）が具体的に決まっていないので、現段階での試算は困難です。
74	全般	三川内	将来の市全体における施設更新費用の裏付けを教えてください。	数字はあくまで推計であり、これまでの用途ごとの建築単価に今後老朽化を迎える建物の延床面積を単純に乗じて試算したものです。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
75	観光・レジャー施設	三川内	うつわ歴史館と三川内焼伝統産業会館の入場者数はどのくらいか。	平成27年の実績で、うつわ歴史館は4,950名。伝統産業会館は13,344名となっております。
76	全般	三川内	支所周辺には市の施設がいくつかあり、体育室との間には親和銀行の施設等もあるが、このような施設と交換などの考えもあるのか。	現在の検討案では、公民館体育室はさせぼ物産みかわち振興センターと複合化を行う案としております。この方針を前提とすれば、その中間にある親和銀行様の土地を取得する必要性は低く、現段階では考えておりません。
77	全般	三川内	ここで結論を出すのは難しい。もう少し検討の時間が欲しい。	了承しました。
78	小学校・中学校	宮	小学校の体育館は新しくなった。小中一貫校とする場合、施設はどのようにするのか。また、小学校と中学校のどちらを使用するなどの考えはあるのか。	同じ施設の中で棟ごとに築年数が違う場合において、比較的新しい棟の場合には、まだ耐用年数のある施設を廃止とすることは適当ではないため、有効的な活用方法を検討していかなければならないと考えております。また、今回の検討案では、あくまで、通学区域審議会の答申をそのまま記載をしているもので、どちらの施設に集約化するのかということについては、今後の方向性が決まった後、個別検討をしていくことになると思います。
79	全般	宮	長寿命化や再編の取組みを進めると、コストはどの程度抑えられるのか。	公共施設等にかかるこれまでの投資的経費は10年間の平均で約61.9億円/年となっておりますが、今後、老朽化していく建物が増えることで、将来の投資的経費は、40年間平均で約113.4億円/年が必要と試算しております。20年間で公共施設の延床面積15%削減と長寿命化の取組みによって、過去10年間の投資的経費の規模で維持をしていくことができると見込んでおります。
80	公民館	宮	宮地区公民館は水害のリスクが最も高いため避難所には向かない。安全性ということを考えて、今後避難場所をどうするのか、再編を行う際には考えてほしい。	宮地区公民館は、浸水想定区域内にありますし、大雨の時には周辺の道路を含め冠水する傾向があることも把握しております。宮小学校体育館も市の指定避難所となっておりますので、大雨が見込まれるときには、そこを地区公民館と同時に避難所として開設することを検討いたします。学校の体育館は、冷暖房設備がありませんので、地区公民館よりも居住性は格段に落ちます。地区内の町内会公民館などで、安全な場所にある建物を「身近な避難所」として自主防災会などが自主開設運営することもご検討ください。
81	小学校・中学校	宮	様々な行事を行う際に駐車場が足りない。小中一貫校とする場合、使わない方の学校敷地は駐車場として利用できるよう配慮して頂きたい。	使わなくなった公共施設や跡地については、処分をして市の財源とするというのが基本的な考え方となりますが、地域からのご要望などに応じて必要があれば、公共の土地という形で残して活用していかなければならないと考えています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
82	小学校・中学校	宮	小中学校の複合化は、通学区域審議会の答申内容に基づいたものということであるが、人口の爆発的な増加などがない限りは、方針として変わらないとの理解でよいのか。	通学区域審議会からは、中長期の実現に向けて宮小学校と宮中学校の一貫型小中学校や義務教育学校の実現に向けての研究を進めることが望ましいとの報告を受けています。児童生徒数の動向を注視しながら、また学校、保護者、地域の皆様のご意見を伺いながら研究を進めてまいります。
83	小学校・中学校	宮	宮小学校は短期の５年間は現状維持となっている。校舎は既に５０年程度が経過しており、更に５年間そのままにするのか。	市内の小中学区の校舎で築５０年を超えている建物が他にもあり、早期の対応が必要ですが、統廃合と施設の改修時期については、二重投資となる部分が生じることも含め見極めが難しい状況です。ただ、通学している児童生徒がいる以上、安全確保が必要ですので、今後の状況を見ながら判断を行っていきます。
84	小学校・中学校 公民館	宮	小学校、中学校、公民館をまとめた施設をひとつ造るというのが効率的ではないか。	他市においても、学校と公民館を複合化したような事例があります。効率化の観点からは、できる限り機能を一つにまとめたいという思いがあります。今後、継続して地域の皆様と議論をしていく中で、そのようなご意見が、宮地区全体の総意として高まってくれば、それらを一つにまとめるという方向となる可能性も考えられます。
85	小学校・中学校	宮	小中一貫校化を実施する際には、すでに小中一貫校化している地域の情報を住民にも提供して頂き、十分に反映させた上で、より良い宮小中学校を作って頂けるようお願いしたい。	平成２９年度に市内７小中学校を一貫型小中学校へ、平成３０年度に市内２校を義務教育学校にしました。これらの学校の状況を研究するとともに、その情報については、つまびらかにしながら、今後の施策へ反映させていただきます。
86	小学校・中学校	宮	本来は小中一貫校ではなく、小学校同士、中学校同士の統合が望ましい。小中一貫校となる場合、若者に希望が持てるような、注目してもらえるようなカリキュラムに取り組んでほしい。	小学校同士、中学校同士での統合は、学年に１学級の状態を改善したり、部活動成立のための人数を確保したりできるメリットがあります。しかしながら、宮小学校、宮中学校に関しては、地域の特性や近隣校との地理的状況などと総合的に勘案した結果、通学区域審議会から一貫型学校や義務教育学校の実現に向けて研究を進めることが望ましいとの報告を受けています。その場合は、９年間の長期的なスパンを生かし、魅力ある教育課程となるよう努めて参ります。
87	小学校・中学校	宮	子どもたちが減っているのです、小中一貫校は避けられない道というのは分かっている。メリット、デメリットあると思うので、十分な検証をした上で取組みを進めてほしい。	通学区域審議会からは、中長期の実現に向けて宮小学校と宮中学校の一貫型小中学校や義務教育学校の実現に向けての研究を進めることが望ましいとの報告を受けています。児童生徒数の動向を注視しながら、また学校、保護者、地域の皆様のご意見を伺いながら研究を進めて参ります。また、平成２９年度に市内７小中学校を一貫型小中学校へ、平成３０年度に市内２校を義務教育学校にしました。これらの学校の状況を研究するとともに、その情報については、つまびらかにしながら、今後の施策へ反映させていただきます。
88	小学校・中学校	南	通学審議会の答申では、崎辺中学校と福石中学校を集約化することがかかれていたのか。	崎辺中学校と福石中学校の集約化について、通学区域審議会の答申では、小規模校は「統合」、「小中一貫教育の導入」、「小規模校として存続」等、最善の方法について検討するという基本的な考え方のもと、統合を含め「将来にわたって検討が必要」とであるという表現でご意見をいただいています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
89	小学校・中学校	南	地域のコミュニティを考えると、中学校同士を集約するのではなく、小学校と中学校を集約する方が良いのではないかと。十分検討をお願いしたい。	市内の地区自治協議会の区域が、ほぼ中学校の校区と重なっていることから、地域コミュニティの視点も十分踏まえながら、検討を重ねてまいります。
90	全般	南	必ずしも集約化してしまうことが良いこととは限らない。より慎重な検討をお願いしたい。	この公共施設再編の取組みのテーマは、市民の皆様への行政サービスをできるだけ確保しながら、集約化や複合化を通じて、遊休スペースの解消や稼働率の低い施設の見直しを図ることで、経費の無駄を省き、その資金を必要な施設へ充てていこうというものです。
91	公民館	南	コミュニティセンター化の具体的内容を教えてほしい。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できませんが、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
92	全般	南	資料１の施設が劣化している写真があるが、ここまで劣化した要因としてどのように考えているか。民間施設ならこのような事例はあまりないと思う。	公共施設の老朽化が進んでいる要因のひとつとして、公共施設は民間施設と異なり、資産としての一定の価値を常に備えおく必要性がないため、これまで事後保全的な補修が基本となってしまうことが挙げられます。ここまで老朽化しているものは少ないですが、高度経済成長期以降に建設された多くの公共施設がこれから一斉に老朽化を迎えることで、今後、増えていくことが予想されます。
93	小学校・中学校	崎辺	中学校の集約化という文言があるが、これに至ったのは生徒数の減少によるものということでしょうか。	学校規模や生徒数の推移、また地理的条件等、総合的な見地から、通学区域審議会において、統合を含め「将来にわたって検討が必要」とであるという表現でご意見をいただいています。
94	幼稚園	崎辺	天神幼稚園は現状維持ということで、園児数については変わらないということでしょうか。	平成３１年度の園児募集を平成３０年１１月から始めています。募集定員はこれまでと変わらず、年長児・年中児ともに３５名ずつとしていますが、平成３１年１月末現在で、就園予定者は年長児６名、年中児２名の計８名という状況です。
95	小学校・中学校	崎辺	学校の耐震対策等は万全か。また、ブロック塀やフェンスなど通学路における対策は万全か。	佐世保市内における小中学校の耐震状況については、１００％完了しています。通学路におけるブロック塀については、文部科学省からの「登下校時における児童生徒等の安全確保について（依頼）」を受け、市内全小・中・義務教育学校において調査・点検を行い、危険箇所があった場合は、迂回したり、見守りを行ったりするなどの安全確保に努めるよう各学校に指導しています。併せて、通学路には、民間の方にて設置されているものもありますので、それに対しては、班回覧等を通じて、所有者等へ適切な管理を促しています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
96	小学校・中学校	崎辺	学校空調の件について、今後、空き教室が増えることを考えると、どこまで空調を設置するのか考えなければならぬ。また、配電盤などの部位別の補修も当然必要になってくると思うので、空調の設置を行う際に併せて行えばよいと思う。	学校空調に関しては、現在の普通教室は全て設置する方針であるため、今後、普通教室で空き教室となった場合は、少人数指導教室等として活用していくことも想定しています。高圧受電設備等についても、併せて改修又は増設を行って参ります。
97	公民館	崎辺	コミュニティセンター化の具体的内容を教えてほしい。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できませんが、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
98	小学校・中学校 公民館	崎辺	将来を考えたときに、学校を建替えるなら、公民館もくっつけて建替えればどうか。時間はかかるだろうが、その方が、費用の抑制はもちろん、地域コミュニティに良い影響を与えるのではないかと。	学校と公民館の複合化については、他の自治体でも幾つか事例があります。メリット、デメリット双方を研究しつつ、有用な考え方のひとつとして、今後検討して参ります。
99	全般	崎辺	西天神町にお住まいの方々から、崎辺地区公民館ではなく、崎辺中学校に避難をしたいという要望を伺った。崎辺中学校は、現在、2次避難所となっていると思うが、もう少し1次避難所の数を増やせないか。	学校の体育館は、冷暖房設備がありませんので、地区公民館よりも居住性は格段に落ちます。地区内の町内会公民館などで、安全な場所にある建物を「身近な避難所」として自主防災会などが自主開設運営することもご検討ください。
100	全般	崎辺	現在の公共施設の耐用年数は短い様に感じる。建設にあたってはもう少し使用可能な建物を造るべきではと思う。 ※ご意見用紙	鉄筋コンクリートの耐用年数は50年弱とされています。その際に、建替えを基本としてしまうと、今後、公共施設が一斉に老朽化を迎えるという状況の中では財政的に厳しいため、建築から40年目頃を目途にリフォームである長寿命化改修を行うことによって、できるだけ費用を抑えながら、建物を80年まで長持ちさせることを目指しています。
101	児童センター・児童交流センター	山澄	山澄児童センターは短期（平成33年度まで）で何かしらの動きがあるように記載されているが、具体的には何年度か。	児童センターの今後の方向性については、現在、子ども未来部にて検討中であり、今回の検討案には、あくまで方向性として可能性のあるものを記載させて頂いているものです。最終的な方向性につきましては、皆様の意見を参考にさせて頂き、関係各課と協議のうえで今後の方針について検討して参ります。
102	全般	山澄	20年後における佐世保中央エリアの小・中学校の児童生徒数の減少率が31%となっているが、どのような計算に基づいたものか。	減少率31%の算出方法については、佐世保市にて行った人口シミュレーションのうち、佐世保中央エリアの20年後における0歳～16歳の年少人口増減率を用いています。ただ、実際には、各学校ごとに増減幅は異なるものと思われます。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
103	全般	山澄	小学校の統合により通学区域が変更になると、通学時間が延び、子ども達にとっては住みにくいまちになっていくのではないかと。将来的に人口をいかに増やしていくかということが大きな課題であると思う。	人口減少や少子化対策については、企業誘致、保育の充実や働きやすい環境づくり、婚活支援など、各部署、様々な視点から取組みを行っていますが、このような人口増加に努める一方で、今後も安定的に財政運営を行っていくためには、最悪の場合を想定しておく必要があると考えています。また、通学区域審議会の答申については、地域ごとの個別具体的な問題点について検証をしたうえでの結果ではなく、あくまで、市全体的、統一的な考え方のもと出されているものです。したがって、具体的な方向性については、今後、地域の皆様のご意見をしっかりと賜りながら決定していきます。
104	小学校・中学校	山澄	小・中学校の耐震化は行われているのか。	市内の小・中学校については、平成２７年度をもって全ての校舎等の構造体の耐震化を終了しています。
105	全般	山澄	市内で集約化や複合化、民営化、施設廃止などを行った事例はあるのか。	集約化の事例として、黒島地区と浅子地区におけるそれぞれの小学校と中学校については、統合され新たに義務教育学校となりました。また、相浦の支所と地区公民館はひとつの建物に複合化されています。施設廃止の事例としては、現時点ではまだ案の段階ですが、旧戸尾小学校の校舎は、現在市民活動交流プラザやエコプラザとして活用をされていますが、建物自体が老朽化しているため、中の機能はどこへ移転させた上で、建物は解体をし、施設を廃止してはどうかという案があります。民営化については、江迎町にあり専ら地元の農業従事者の方々の集会所として活用されていた施設を、地元の方々に譲渡したという事例があります。
106	小学校・中学校	山澄	児童生徒数が減少することにより、空き教室が発生したり、授業などに支障が出ているのではないかと。	児童生徒数の減少に伴い、「集団学習や習熟度別指導など、多様な指導形態がとりにくい」などの課題がある一方で「教師が一人一人の学習状況を把握しやすくなる」、「発表の機会が増える」、「体育館や特別教室などが余裕をもって使える」などのメリットもあります。それぞれのメリットを最大限に生かした指導の工夫に努めてまいります。
107	小学校・中学校	山澄	少人数指導のための先生は県が採用するのか。	教職員については、県が採用することが基本ですが、佐世保市におきましても、少人数指導のための非常勤講師の採用・配置を行っています。
108	その他	山澄	市営住宅の状況はどのようになっているのか。	市営住宅は、独自で計画を策定されているため本計画の対象外としていますが、全体的な方向としては、戸数はあまり変えず、経営の視点で運営が引続き継続できるよう、必要に応じて見直しを行いながら、計画的に進められています。
109	全般	中部	旧戸尾小学校は施設廃止となっているが、跡地活用の検討も併せて行っているのか。	今回お示ししている検討案については、旧戸尾小学校の建物について検討しているため、その後の跡地活用策については、今後、地域の皆様と一緒に議論して参ります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
110	全般	中部	施設再編の考え方に至った出発点は人口減少か、公共施設の老朽化か。	ご指摘のとおり、公共施設が今後一斉に老朽化することにより、建物に係る経費が急激に増加することや、更には、人口減少により収入が減り、施設利用者や児童・生徒数が減少していく見通しが明らかとなったことで、これらに対処する手段として、本取組みが始まったものです。
111	全般	中部	廃止や移転した跡の施設をすぐに撤去せずに別の用途で利用しているから、どんどん施設が増えていっているのでは。	廃止した施設を異なる用途で活用することは、事例として少なくありません。現在は、施設機能を廃止した後は、建物自体も速やかに廃止しつつ、跡地についても速やかに方向性を検討するという考え方のもと取組みを進めています。
112	児童クラブ	中部	放課後児童クラブについて、今後、施設利用者が増えてくと思うが、そのような中、どのように公共施設から民間施設に変えていこうと考えているのか。	放課後児童クラブの需要に応じ、新たな需要が見込める地域に対して計画的に設置を進めております。その際に利用可能な公共施設がある場合は検討致しますが、基本的には民間施設での開設を条件として運営事業者を公募等により設置を進めております。
113	児童クラブ	中部	児童クラブの場所として、小学校の空き教室を利用するのも、安全性を確保するうえでも、施設の有効利用という面でも、良い手段であると思う。	小学校の余裕スペースの活用については、協議すべき一定の課題がありますので、有効なひとつの手段と考えておりますので、引続き子ども未来部や教育委員会において検討を行って参ります。
114	全般	清水	公共施設の赤字施設はどこか。	公共施設は、収益性を前提としておらず、施設の維持管理費に対して、7割から3割程度の使用料で運営をされています。
115	観光・レジャー施設	清水	交通公園は、平日の利用が少ない。人件費を考えると委託した方がよいのではないか。	交通公園は設置の当初から佐世保市交通安全協会連合会に管理をお願いしています。
116	その他	清水	旧戸尾小学校跡地は、売却などの有効利用が考えられるのではないか。	旧戸尾小学校及び体育館については、老朽化が進んでおり、今後、維持管理経費が増えていくことが予想されるため、市民活動交流プラザをはじめとした現在の機能について他の代替施設へ移転した上で、現施設については解体を行い、跡地については売却や他の利活用を検討するとしています。
117	小学校・中学校	清水	子どもの数が減るのであれば、小中一貫校にしてはどうか。	小中一貫型や義務教育学校の導入には、児童・生徒数の推移だけでなく、教育的効果をはじめ、学校の敷地面積、校舎の規模等を加味した十分な検討が必要です。ご意見として頂き、子どもたちにとってよりよい教育環境づくりに向け、引続き検討して参ります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
118	公民館	清水	清水地区公民館が避難所として指定をされているが、高台にあり、高齢者にとっては不便である。近くに避難所を確保して防災施設や安全対策を講じてほしい。	避難所は川のそばや浸水するような低地でない方が良く、言い換えれば少し高台にあった方が良くということになります。そういうことでは清水地区公民館は、非常に優良な避難所です。高齢者の避難所への移動については、距離の問題もあるかと思いますが、地区内の町内会公民館などで、安全な場所にある建物を「身近な避難所」として自主防災会などが自主開設運営することもご検討ください。
119	全般	清水	施設の再編にあたっては、公的機関としての役割をしっかりと考えて、取組みを行ってほしい。	公共施設の再編にあたっては、できる限り、市民の方々への行政サービスの質を落とすことなく、遊休スペースの解消や複合化などを通じて、管理経費の省力化を目指し進めて参ります。
120	全般	清水	20年後には子どもが大幅に減少するとされている。少子化対策は何もしないのか。	少子高齢化については、佐世保市だけではなく日本全体の問題として、行政としてもできる限り対策を講じていかなければならないという一方で、今後も安定的に財政運営を行っていくためには、最悪の場合を想定しておく必要があると考えています。また、本計画は、概ね5年ごとに見直しを行う予定としていますので、都度、地域の皆様との対話を行いながら、その時の情勢に併せて、必要に応じて柔軟に対応して参ります。
121	全般	清水	参加者の意見をしっかりと受け止めながら、取組みを進めてもらいたい。	清水地区の公共施設における今回の検討案において、短期的に施設を見直さなければならないものは限定的であるため、今後、概ね5年ごとに引き続き市民の皆様との対話を行いながら、頂いたご意見を踏まえつつ、計画を進めて参ります。
122	公民館	北	コミュニティセンター化について教えてほしい。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できませんが、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
123	全般	北	建物を新築するなら、数年で補修や改修をしなければならないようなものではなく、長期的に持つようなしっかりしたものを造ってもらいたい。	建物の新築を行う際には、40年から50年持つような造りとするだけでなく、今後は、さらにその後も建物の躯体が健全であれば、長寿命化改修というリニューアル工事を行うことで、最終的には80年使用することを目標としています。
124	公民館	北	北地区公民館の講堂や工芸室など、全体的に面積が狭く、なかなか催しものが開催できない。より広いものに建て替えて頂ければありがたい。	公民館に限らず、今後は、建物を更新する際には長寿命化改修を原則としているため、現在の延床面積を変えることは難しいと思われます。ただし、既存の面積が、基準と比較して顕著に狭隘であると判断されれば、施設の所管課とともに整理させていただいたうえで、個別に建替えについて検討することになります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
125	児童クラブ	西	児童クラブは学校の教室を活用するということか。	学校の余裕教室等を活用して児童クラブを運営できないか、現在、子ども未来部や教育委員会にて検討を進めています。
126	児童センター・児童交流センター	西	今後、児童センターは児童クラブとして一本化されるのか。	今回お示しをしている検討案は、あくまで一つの案であり、決定しているものではありません。児童センターの今後の方向性については、ニーズの変化などを踏まえ、現在、検討を進めているところです。児童クラブを併設している西地区の児童交流センターについても、地域の皆様と協議を行いながら、今後の方針を決めていきたいと考えています。
127	児童クラブ	西	小学校の教室で児童クラブを運営する場合、利用者から負担金を取るとなったら少し違和感がある。	児童クラブは、営利目的とは異なるものの、福祉制度に基づいた市の委託事業として運営を行っており、運営費や人件費等が発生します。保育料につきましては制度的にもご負担頂くことになっており、ご理解頂きたいと思います。
128	児童センター・児童交流センター	西	20年後に建築年数が40年を経過しない児童交流センターについても、廃止を考えないといけないのか。	児童交流センターを他の児童センターと同様の取扱いとするかについては引き続き検討が必要ですが、もし機能が移転または廃止となり、その際に建物の耐用年数が残っていれば、他用途での利活用も考えられます。
129	全般	西	海外の建物では100年もっているものがある中で、50年余りで壊してしまうというのは、もったいない気がする。もっと耐用年数があるのではないのか。	鉄筋コンクリートの耐用年数は50年弱となっています。その際に、建替えを基本としてしまうと、今後、公共施設が一斉に老朽化を迎えるという状況の中では財政的に厳しいため、建築から40年目頃を目途にリフォームである長寿命化改修を行うことによって、できるだけ更新費用を抑えながら、建物を80年まで長持ちさせることを目指しています。
130	全般	西	建物によって、古いものでも頑丈に造ってあるものもあれば、そうでないものもあると思う。一概に経過年数で判断してしまうのには疑問がある。	ご指摘のとおり、一概に経過年数のみで判断してしまうのは適切ではないと考えています。長寿命化改修を行う際には、建物の構造体が健全で、今後も継続して使用が可能であるかどうかの調査を行いながら、改修の是非についてしっかり見極めながら行っていきたいと考えています。
131	全般	西	耐震検査は定期的に行っているのか。	耐震性というのは日々低下をしていくというものではありませんので、検査については当初の1回のみとなります。その際に、耐震基準を満たしていないものには、耐震工事等を行い、その基準を満たすこととなりますが、現在の佐世保市内のほとんどの施設は、その基準を満たしている状態です。また、耐震検査とは別に、建築基準法に定められた用途の建物については、概ね3年に1回の点検を行っており、建物の劣化状況について、継続的に把握をしています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
132	小学校・中学校	西	金比良小学校と光海中学校が今後も機能継続となっている理由を教えてください。	金比良小学校と光海中学校については、既に小中一貫型教育という新たな手法が取られていることから機能継続という考え方となっています。ただし、児童生徒数が予想以上に減少するなど、今後の状況によっては、方向性の見直しが必要となってくる可能性もあります。
133	児童センター・児童交流センター	西	現在、西地区公民館と小学校、中学校が避難所となっているが、急傾斜地にあるため、特に高齢者にとっては大変である。将来的に、児童交流センターを用途変更などして避難所として活用することも可能なのか。	避難所は「用途」ではなく、その建物が何かの機能として継続となった場合に、避難所としても活用ができると考えております。その上において、児童センターが廃止となった場合の跡施設の活用方法については、児童センターの方向性がまだ明確に定まっていないため、今後、検討していくこととなります。
134	全般	西	公共施設という観点だけではなく、財政が厳しくなることに対応するための計画はあるのか。	一つの例として、第6次行財政改革推進計画というものがあり、これは公共施設の数だけでなく、職員数や財源の使い方など、多面的な視点から佐世保市の財政運営の健全化を目指す計画です。この公共施設の再編も、この計画の中の取組みの一つとして位置付けられます。
135	児童クラブ	愛宕	児童クラブの法人化が進んでいるようだが、法人化となっても、今の敷地から移転する必要があるのか。	法人化の如何に関わらず、現施設の利用が困難となった場合には、自前での設置・民間施設を利用した運営等をお願いすることになると考えています。ただ、赤崎学童クラブは、まだ耐用年数がありますので、当面の間は引き続き使用可能です。
136	公民館	愛宕	コミュニティセンター化は所管が変わるという事か。公民館は、市が建てたものだから、自前で管理を行った方がよいのではないのか。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できませんが、コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
137	公民館	九十九	公民館の屋根瓦が老朽化して薄くなっている。処置は行わないのか。	部分的な改修の必要性が高いものについては随時対応して参りますが、基本的には、建築から40年頃を目途に行う長寿命化改修工事の際に併せて行うこととなります。
138	公民館	九十九	避難所として九十九地区公民館が指定されているが、避難場所として適さないという話をよく聞く。公民館の場所を移転するというような考えはないのか。	建物の大規模更新にあたっては、構造躯体の寿命などの諸条件を満たしていれば、長寿命化を原則としています。また、九十九地区公民館は大雨時には避難所として開設していますが、海に近接していますので、台風接近時には高潮の恐れがあり適さないため、代わりに野崎町の町内会公民館を避難所として開設させて頂いております。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
139	全般	九十九	建物の点検はどのくらいの頻度で行われているのか。	建築基準法にて法定点検を行わなければならないとされている施設については、3年に1回、当法に基づいて点検が行われています。
140	公民館	九十九	公民館のコミュニティセンター化について、詳しく聞きたい。	コミュニティセンター化については、詳細がまだ決まっておらず具体的なことはご回答できません。コミュニティセンター化に係る施設の管理・運営については、指定管理者制度を導入する方針はありますが、地域の皆様の意向を反映し、かつ、将来にわたって安定的に運営できる仕組みづくりを検討している状況です。
141	観光・レジャー施設	九十九	させぼつくす99は、その初期投資の回収は上手くいっているのか。	道の駅させぼつくす99は、物販と飲食の機能を持ち、本市特産品の認知度向上と販売額向上を目指しています。両機能については、オープン当初から運営事業者による経営が継続し、約2,000品の市内特産品を販売提供されており、市内事業者への一定の販売効果が波及していると考えております。今後も運営事業者と連携しながら、道の駅させぼつくす99の活性化に取り組んでまいります。
142	全般	九十九	市役所には様々な部署があるが、今後は横割りで検討をしていくことが必要であると思う。	これまでは、市が計画などを策定するにあたって、全庁横断的な検討が足りていなかったことについて反省すべき点があったことから、今回の施設再編の取組みについては、施設再編整備推進室が中心となって検討を進めており、今後、改善できるものと考えています。
143	スポーツ施設	日宇	日宇スポーツセンターについては、長年、日宇地区のスポーツ振興において親しんできた場であり、健康増進にも貢献している。建替えをするには多額の経費がかかるので難しいとは思いますが、使える間は使わせてほしい。	現在の日宇スポーツセンターは、現状を把握しながら、安全に使用できる間は、引続き利用を継続して頂くことは可能と考えています。
144	全般	日宇	この再編計画は、都市計画マスタープランや総合計画に載っているのか。	本計画の検討単位には、都市計画マスタープランにおけるそれを参考としたものですが、都市計画マスタープランそのものに本計画が載っているものではありませんが、総合計画の中においては、第6次行財政改革推進計画の分野別計画として位置付けられています。
145	全般	日宇	再編の取組み自体は、非常に大切なことであるので、計画倒れにならないようにしてもらいたい。	この再編の取組みの目的は、市民の皆様に安全な公共施設を提供することです。予防保全を原則とした計画的な補修・更新計画によって、適切な時期に、しっかり対応して参ります。
146	全般	日宇	費用を削減することもだが、財源を増やす方策にも、もっと力を入れるべきだと考える。	本市では、現在、クルーズ船の誘致やI Rなどの観光振興を中心に、いわゆる「稼ぐ取組み」を重点施策のひとつとして行っているものの、今後、人口や税収が減少していくことは、もはや日本全体の問題であり、今後の財政構造的に厳しくなっていくという現実を見込むと、このような再編の取組みは、一定やむを得ないものと考えています。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
147	全般	日宇	このような機会に、ふるさと納税など市が財政収入増のための取組みを行っている旨の報告があれば、よりわかりやすいと思う。	今後の説明に向けたご意見として参考とさせていただきます。
148	小学校・中学校	日宇	児童・生徒数が何名以下になれば、学校の統廃合を行うなどの基準はあるのか。	学校の統廃合に関して、児童・生徒数が何名以下になれば行うといった基準はありません。
149	全般	日宇	老朽化に対する補修業をやっているが、雨漏りや水漏れに関しては、新築してから30年、40年経過してからやろうとしても、余計な部分を壊さないといけないなどの事態になるので、10年置きぐらいの周期で行えば長持ちするのではないかと思う。	建物の部位別に劣化年数が異なりはするものの、ご指摘のとおり、概ね10年～20年ぐらいの周期で、壊れる前に予防保全を行うことによって、安全性、機能性の確保、さらに、必要工事をまとめて行うことによるコスト抑制を目指しています。
150	全般	日宇	税収が将来的に少なくなるという予測をされている中で、大規模企業の倒産など、不足の事態により、さらに税収が減少することもあり得る。そのような場合、計画を見直すことも検討しているのか。	基本計画は20年間の計画ですが、施設の老朽化や社会情勢の変化へ機動的に対応するため、概ね5年ごとに見直しを行っていきます。ご指摘を頂いた景気の動向に対して、状況に応じて、見直しを行っていく必要があると考えています。
151	保健福祉施設	宇久	宇久高齢者福祉センターがなくなると宇久島にとっては困る。なくならないよう十分検討してほしい。	高齢者福祉センターの機能の必要性については十分認識をしています。したがって、廃止ではなく、介護サービスの事業として周辺の入所・デイサービスとの一体的な事業運営に向けて、民間譲渡などにより運営の仕方を見直す方向で検討するとしています。
152	公民館 支所・行政センター	宇久	エレベータの設置が困難であるならば、宇久行政センターと公民館の複合化については、平屋やせめて2階建てならよいが、それ以上や現在の行政センターをそのまま使ったりとなると、高齢者にとっては厳しい。	宇久行政センターと地区公民館を複合化して新たに新築する場合においては、平屋建てまたは2階建てを考えており、できるだけ高齢者の方への負担が生じない造りといたします。
153	資料館・博物館	宇久	宇久島資料館を行政センターと複合化するのは良い考えであると思う。現在の位置ではわざわざ誰も見に行かないし、行政センターと複合化されていれば、観光客や住民にとっても視認性が良いと思う。	ご意見として参考とさせていただきます。
154	児童センター・児童交流センター	宇久	児童センターが用途変更または機能廃止となっているが、宇久の場合、児童クラブというものに対して馴染みがなく、どのようなものかわからない。少なくとも、現在の宇久の児童センターでは、他所から入ってくる子ども達などとの交流を行っているの、他の児童センターと考え方を分けてほしい。	児童センターの利用者数の減少や今後の施設の老朽化に伴うコスト等から、現在、児童センターの存続について検討しておりますが、お示ししている検討案については、今後想定をされるものであり、現時点で、決定しているものではありません。また、現在でも多くの子供達や乳幼児をもつ親子も多く利用されていることから、市民の皆様のご意見を賜りながら、今後の方針について検討して参ります。

整理 No.	用途	地域	参加者からの意見	市からの回答
155	公民館	宇久	神浦分館は機能廃止となっているが、町内の集会等の際にも使用させて頂いている。神浦分館の代わりに、旧ふたばへき地保育所を活用させて頂けないか。	神浦分館を廃止することによる、現在分館で実施をしている事業等の今後の方針、及び、町内の集会等の場所として旧ふたばへき地保育所の施設を活用することについては、今後、関係部局にて検討していく必要があると考えております。
156	公民館	宇久	公民館を行政センターの方に持っていってしまうと、地震の際の津波が心配である。	長崎県によりハザードマップが策定されており、津波の警戒が必要なところは警戒区域として指定をされていますが、現在の宇久行政センターの位置はその指定がされていないことから、検討案のひとつとさせて頂いています。ただし、皆様の意見によっては、地区公民館のある位置にて複合化を検討することも考えられます。
157	全般	宇久	提示されている3つのパターンの中から選ぶようになるのか。	何をまとめるかという機能の点については今回の3案がベースとなりますが、どこにまとめるかという立場所等の点に関しては、様々なご意見があると思いますので、この3つの案によらず、更に案の追加も考えられます。
158	スポーツ施設	宇久	宇久野球場と宇久陸上競技場の費用対効果が良くないという話は以前からある。地元としては、エビスヶ丘公園にナイター設備を付けて頂けるのであれば、2つを廃止しても問題ないと思っている。	ご意見として参考とさせていただきます。